

平成20年度 松本筑摩高等学校(定時制課程夜間部)学校評価表

学校番号	81	長野県筑摩高等学校定時制課程夜間部
------	----	-------------------

1 目 標

夜間部教育目標	重点目標(中長期的目標)	総合評価				
(夜間部教育目標) 1. 働きながら学べるというシステムを最大限生かし、就労・生活体験をもとに自己を見つめ、将来への確固とした展望をもたせる。 2. 集団に適応できる自律的訓練の場としての学校の機能を重視し、社会人としての基本となるルールや規範意識を身に付けさせる。 3. 地域社会に開かれた学校づくりに努めながら、生徒と教職員がともに研鑽し豊かな人間性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が安心して通学、学習できる環境の確立 生徒の置かれた状況をきめ細かく把握し、個々の相談に応じ支援する態勢の整備 学力と生活規律の基礎・基本の定着と単位修得率の向上 					
	平成20年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
	<ul style="list-style-type: none"> 進級および卒業率の引き上げ 進学および就職などの進路保障のいっそうの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と学業の両立が達成できている生徒の一方困難をかかえる生徒に対し、よりいっそう理解と指導をはかる。 		○		働きながら学ぶという生活リズムを確立するため個々の生徒の実態把握ときめ細かな指導体制に努める。

2 活動領域

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育活動	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 二期制(分割認定)に関する課題の検討 工業科目(選択)設置に関する検討 学校設定科目の検討 教科指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業日数は確保できたか 単位修得者は増えたか 科目に生徒の実態や要望にかなっているか 生徒が積極的にとり組んだか 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間定時制としては精一杯の確保をしている。 2~4年次生については向上している。 アンケート等でよりいっそう要望をくみあげる必要がある。 目的をしっかりとった生徒はきわめて積極的である。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 行事日の見直し、年間計画の早期作成 生徒へのアンケート実施や面談での情報収集
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の充実 授業の再点検による充実・改善 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が協力して指導したか 生徒が意欲的に取り組んだか 授業アンケートの実施と検討会等 	<ul style="list-style-type: none"> 科目ごとに様々な工夫をしているが、お互いの授業の様子等を話し合うことが必要。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 後期からの「総合的な学習の時間」にむけて全員が協力を強める。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個人々の状況把握の強化、システム化 交通安全指導の実施 基本的生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 個人カードの作成、更新 通学方法を的確に把握し、安全指導に役立てたか 挨拶や上下履きの区別ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や上下履きの区別はひじょうに良かった。 一部のグループへの集団的指導に課題が残った。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の対象生徒についていっそう理解を深め、適切な指導方法を探る。
教育活動	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査の実施 進学、就職の情報提供 進路相談と進学、就職指導 	<ul style="list-style-type: none"> 年次にあった希望調査をしたか 適切な情報提供ができたか 個別に面接・作文・小論文指導などの対応ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> できるかぎり早くから就職・進学に関する情報を提供して意識を高めたい。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 適性検査の実施時期を早め、事後指導のための時間を確保した上でより生徒の理解が深まるようにしたい。
	クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> 生徒別の履修登録指導 SHR、LHR活動の充実 保護者懇談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 単位習得の実態に即し、個別に対応できたか クラス・学年ごとの計画を立案したか 保護者との連携を密にしたか 	<ul style="list-style-type: none"> 一年次生の単位修得に課題を残した。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 前期の反省を生かし後期の修得率を高める。
	生徒会等	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭発表展示の充実 諸行事運営方法の検討 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が取り組んだか 執行部、委員会が機能したか 日常の練習・活動を効率的に行い、大会・文化祭で成果が発揮されたか 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動は充実してきたが、文化祭の取り組みは例年と同じ課題を残した。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 全日制が廃される次年以降、夜間部としてどう文化祭のあり方、かかわり方があるか研究する。
学校運営	研修	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修のいっそうの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「多部制・単位制」の研究が深まったか 	<ul style="list-style-type: none"> 転編入生の単位の扱いについて課題が生じた。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 他部(パート)との意見交換の必要あり。
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の適正化 「学校運営支援システム」活用の検討 書類、情報の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 分掌の合理的な運営ができたか 合理的・効率的な活用法が実現できたか 文書、データ等を効率よく管理できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な連絡、協力態勢がとれている。 		○		<ul style="list-style-type: none"> データ管理のいっそうの効率化。
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、中学校、地域への学校公開 事業所・企業主との連携 学校評議員会との協力 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人に公開でき、理解を深められたか 事業所訪問や広報活動ができたか 意見交換の場を設けられたか 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員に見学を要望しているが実現していない。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 今後、学校公開、説明会を精力的に実施していく。